まずは楽しむ「多世代交流」と「地域活動」

　少子超高齢社会のなかでの、地域活動の推進は「次世代の担い手の育成」が喫緊の課題となっています。
　そこで西部ブロック６カ所の地域包括支援センターが協働して「まずは地域活動と地域包括支援センターを知ってもらう」というテーマのもと１０月２９日西新井さかえ公園にて多世代交流を目的とした多世代交流祭りを開催しました。
　当日は多くの家族連れや高齢者の方が集まり、ダーツ、体操、福祉用具体験等のブースを楽しんでいました。
　すべての世代それぞれが「楽しい」と思える場を作り、地域活動の担い手が生まれるきっかけを作る。とても素敵なイベントだと思いました。

当日は快晴。受付に多世代が一緒に並んでいるのを見て新鮮な印象を受けました。子どもも大人も高齢者も多くの方が公園に集まっていました。

認知症の方の視界が体験できる VR（バーチャルリアリティー）に記者も挑戦中。

アニマルセラピー体験も。人形ですが目を開けたり尻尾を振ったり。さわり心地もフワフワです。

取材日　：令和４年１０月２９日　　参加者数：約３００名
取材メモ：世代を超えて楽しめる地域のイベントが今後も増えるといいなと思います。
　　（足立社協　阿部耕平）
問合せ先：地域福祉課　☎６８０７－２４６０　ＦＡＸ５６８１－３３７４